

第69期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日



ティアック株式会社

証券コード：6803

Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2016年9月30日をもちまして、第69期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

A handwritten signature in black ink, which appears to read "Y. Hanabusa". The signature is written in a cursive style and is positioned over the bottom right portion of the blue background.

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、このところ一部に景気の弱さも見られますが、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いています。また、世界経済は全体としては緩やかに回復しているものの、英国のEU離脱問題や米国の金融政策正常化の影響、中国やその他アジア新興国経済の減速など、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち、BtoC事業では商品ポートフォリオの再構築、中国・アジア市場開拓の強化により、収益性向上を重視した事業運営を進めております。また、放送・設備市場へTASCAMブランドで展開しているBtoB事業では、国内市場へ機器販売のみならずレコーディング・ソリューション・カンパニーとしての事業拡大を目的とした投資を進めております。事業の選択と集中を完了した情報機器事業については、再参入を遂げた機内エンターテインメント機器の国内外エアラインへの導入を実施し、また、欧米市場で順調に受注を伸ばしている医用画像記録再生機器並びに計測機器は、中国市場へ本格参入を進めております。

当中間期におきましては、売上収益は、円高と産業用光ディスクドライブ事業の譲渡の影響により前年同期を下回りましたが、営業損失につきましては、音響機器事業におけるコストダウンによる売上総利益の改善と円高による国内販売の原価低減効果、

また、販売費及び一般管理費の削減もあり、前年同期と比較して改善しました。また、第2四半期(7月-9月)におきまして前年同期よりも改善し、営業利益、四半期利益を計上しました。

この結果、当社グループの当中間期の売上収益は77億9千2百万円(前年同期比19.7%減)、営業損失は4億5千5百万円(前年同期営業損失4億9千6百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は4億2千万円(前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失6億5千万円)と、減収になったものの、損失は改善いたしました。

通期の業績見通しについて

当中間期及び前年同期とも営業損失を計上しておりますが、当社グループの業績の特性は、季節要因により、売上、利益とも第4四半期に集中する傾向があります。

なお、2017年3月期の連結売上収益は205億円、営業利益3億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は5千万円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

連結業績ハイライト (国際会計基準)

		第67期 2015年3月期	第68期 2016年3月期	第68期(中間) 2015年9月期	第69期(当中間) 2016年9月期
売上収益	(百万円)	20,434	20,455	9,704	7,792
営業利益	(百万円)	△ 1,403	43	△ 496	△ 455
税引前当期利益	(百万円)	△ 1,832	△ 132	△ 619	△ 391
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(百万円)	△ 1,870	△ 196	△ 650	△ 420
基本的1株当たり 当期利益	(円)	△ 6.49	△ 0.68	△ 2.26	△ 1.46
資産合計	(百万円)	14,648	13,122	14,198	11,536
資本合計	(百万円)	2,043	802	1,303	△ 120

音響機器事業

64.2%



売上収益 4,998 百万円
(前年同期比 16.0%減)

セグメント営業利益 3 百万円
(前年同期比 42.4%減)

ターンテーブル/カセットプレーヤー付
CDレコーダー

高級オーディオ機器 (ESOTERICブランド) は、SACDプレーヤーやネットワークプレーヤーが堅調に推移し、またプリメインアンプのFシリーズも上市され、総合ハイエンドブランドとしてブランドイメージ向上に努めました。しかしながら、高級オーディオ機器は全製品国内自社工場で生産を行っているため、現地通貨建ての輸出が円高の影響を受け、全体では前年同期と比較して減収減益となりました。

一般オーディオ機器 (TEACブランド) はターンテーブル関連製品が大手流通向けに堅調に推移し、円高による国内販売の原価低減もあり、前年同期と比較して減収ながら、営業損失は改善しました。

音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) は、楽器市場向けにおいては、USBオーディオインターフェイスの新製品導入により北米、国内で販売は堅調でした。リニアPCMレコーダーは全地域で堅調でしたが、マルチトラックレコーダー (DIGITAL PORTASTUDIO) はシェアトップを維持したものの、市場縮小により、販売は減少しました。設備市場向け製品は、ソリッドステートレコーダー、CDプレーヤーが堅調でしたが、MiniDiscレコーダーの需要減などにより、販売が低調に推移しました。放送局向け製品は国内で堅調、デジタル一眼レフカメラ用リニアPCMレコーダーも北米で大手ディーラーへの新製品導入があり堅調に推移しました。全体で前年同期と比較して減収となり、コストダウンによる売上総利益の改善と円高による国内販売の原価低減効果もありましたが、僅かながら減益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

売上収益
7,792

情報機器事業

29.0%



医用画像記録再生機器
メディカルビデオレコーダー

売上収益 2,262 百万円
(前年同期比 32.8%減)

セグメント営業利益 78 百万円
(前年同期比 64.5%減)

売上収益減少の主要因は、産業用光ディスクドライブ事業を前期に事業譲渡したことによるものです。

航空機搭載記録再生機器は、計画していた海外顧客向け製品の導入が、機体メーカーの認証手続きの関係で第4四半期へ延伸したことにより減収となりました。

計測機器は震災や急激な円高の影響によりデータレコーダーの販売が低調に推移しました。センサーは半導体装置向けの出荷が好調を維持したものの、計測機器全体では減収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内の消化器内視鏡向けの販売が好調であったこと、また手術動画用レコーダーは欧州での大手販社との契約が締結できたことで好調に推移し、増収となりました。

ソリューションビジネスは好調の受託開発ビジネスに加え、大手介護施設向けのITシステムの受注により増収となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

百万円

前年同期比
19.7%減

その他事業

6.8%

売上収益 531 百万円
(前年同期比 36.0%増)

セグメント営業利益 9 百万円
(前年同期セグメント営業損失△ 29 百万円)

● EMS 事業

要約連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	当中間期 2016年9月30日現在	前期 2016年3月31日現在
■ 資産		
流動資産	8,988	10,443
現金及び現金同等物	2,019	2,524
営業債権及びその他の債権	2,797	3,923
棚卸資産	3,925	3,692
その他の流動資産	247	305
非流動資産	2,548	2,679
有形固定資産	1,568	1,676
無形資産	577	634
その他の投資	179	127
繰延税金資産	15	28
その他の金融資産	181	184
その他の非流動資産	28	30
資産合計	11,536	13,122

	当中間期 2016年9月30日現在	前期 2016年3月31日現在
■ 負債		
流動負債	5,711	5,784
借入金等	2,403	2,458
営業債務及びその他の債務	1,554	1,632
引当金	776	674
未払法人所得税	10	10
その他の金融負債	25	29
その他の流動負債	943	980
非流動負債	5,945	6,536
借入金等	123	191
退職給付に係る負債	5,331	5,551
引当金	369	672
繰延税金負債	8	9
その他の非流動負債	114	112
負債合計	11,656	12,320
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	△ 176	756
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	74	74
自己株式	△ 119	△ 119
利益剰余金	△ 2,575	△ 2,155
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	△ 125	386
非支配持分	56	46
資本合計	△ 120	802
負債及び資本合計	11,536	13,122

Point 1 連結財政状態計算書

<資本合計>

四半期損失の計上による利益剰余金の減少、円高に伴う為替換算調整勘定の減少によるその他の資本の構成要素の減少などにより、120百万円の債務超過となりましたが、季節要因により、売上、利益とも第4四半期に集中する傾向にあり、期末には債務超過は解消する見込みです。

Point 2 連結損益計算書

<営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益>

売上収益は円高と産業用光ディスクドライブ事業の譲渡の影響により前中間期を下回りましたが、音響機器事業におけるコストダウンによる売上総利益の改善と円高による国内販売の原価低減効果、販売費及び一般管理費の削減もあり、営業損失、親会社の所有者に帰属する四半期損失は前中間期に比べて改善しました。また、第2四半期(7月-9月)においては、営業利益、四半期利益を計上しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

主な内訳は、プラス要因として営業債権及びその他の債権の減少額493百万円、マイナス要因としては四半期損失410百万円、棚卸資産の増加額458百万円であります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

主な内訳は、プラス要因として売却可能金融資産の売却による収入524百万円であります。

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上収益	7,792	9,704
売上原価	4,600	6,175
売上総利益	3,192	3,529
販売費及び一般管理費	3,751	3,971
その他の損益	24	32
個別開示項目前営業損失 (△)	△ 535	△ 410
個別開示項目	80	△ 86
営業損失 (△)	△ 455	△ 496
金融収益	161	7
金融費用	97	144
持分法による投資利益	—	14
税引前四半期損失 (△)	△ 391	△ 619
法人所得税費用	19	33
四半期損失 (△)	△ 410	△ 652
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	△ 420	△ 650
非支配持分	10	△ 2

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期
	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 493	△ 742
投資活動による キャッシュ・フロー	400	△ 16
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 186	△ 65
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 226	76
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 505	△ 747
現金及び現金同等物 期首残高	2,524	2,826
現金及び現金同等物 四半期末残高	2,019	2,079

要約連結持分変動計算書 (2016年4月1日～2016年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	6,000	74	△ 119	△ 2,155	△ 3,430	386	756	46	802
四半期包括利益									
四半期損失 (△)				△ 420			△ 420	10	△ 410
その他の包括利益						△ 512	△ 512		△ 512
四半期包括利益合計	—	—	—	△ 420	—	△ 512	△ 932	10	△ 922
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
当四半期末残高	6,000	74	△ 119	△ 2,575	△ 3,430	△ 125	△ 176	56	△ 120

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

『NEW VINTAGE』をテーマにした新製品発表会を開催

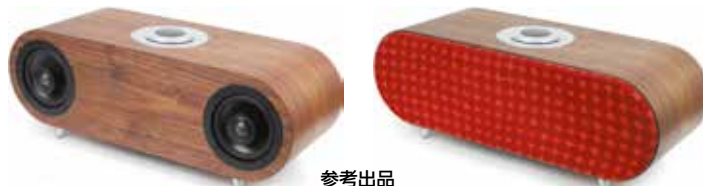
2016年10月Gibson Brands Showroom TOKYOにて新製品発表会を開催いたしました。新たな企業理念とタグラインを4月に発表しスタートした「新生ティアック」そして「リアクティベーション（ブランド再生）」の一連の動き、本格的なモノ作りで最高品質を追求するという原点回帰の姿勢や戦略についての当社社長のスピーチに続いて、その「新生ティアック」を象徴する『NEW VINTAGE』をテーマにしたハイレゾ対応の新製品2モデルを発表いたしました。音だけでなくデザインにもこだわった、オーディオ・音楽ファンに新たなライフスタイルを提案する製品です。当日は100名近いメディアの方々にご来場いただき、その後多くのメディアで発表会の模様と新製品情報が取り上げられました。

当社はこのリアクティベーション活動を今後の成長の原動力とすべく、継続的に取り組み邁進してまいります。

NEW VINTAGE



ネットワーク CD プリメインアンプ 『NR-7CD』
 (2017年1月下旬 発売予定)



参考出品
 オールインワンネットワーク
 ハイレゾオーディオシステム 『WS-A70』
 (2017年春 発売予定)

特設サイト

<https://teac.jp/jp/special/NEW-VINTAGE>

自然素材や織りにこだわった
 フロントグリルのカラーバリエーション▶



新製品発表会の模様



(左から) 多摩美術大学教授 和田達也氏
 デジタルメディア評論家 麻倉怜士氏
 当社社長、俳優 半田健人氏



当社社長と『NR-7CD』



多数のメディアに新製品のご紹介

情報機器事業の新製品

あらゆる現場での荷重管理やロードセルメンテナンスに。 『TD-01 Portable』新発売

2016年11月に、ロードセル用ポータブルデジタル指示計『TD-01 Portable』を販売開始いたしました。ロードセルは、半導体製造装置などの産業用機械の荷重/力の測定用に使用するためのもので、自動車、航空、ロボットなど様々な産業分野で使用されています。新製品『TD-01 Portable』は、そのロードセルから入力される信号をデジタル値やアナログ波形として表示し、表示画面にはポータブルタイプでは業界初の視認性に優れたカラー液晶画面を採用。高速処理にも対応可能な A/D コンバーターを搭載し、データ収録機能やセンサー断線検出機能及び TEDS 規格対応など、現場計測にフォーカスし、データレコーダー開発で培ったノウハウを注ぎ込み、低価格でありながら高機能・高性能を実現しています。



24bit/1kHz 対応
ポータブルデジタル指示計
『TD-01 Portable』

KLOTZ、dBTechnologies 取り扱い開始

2016年7月に世界のミュージシャン、プロフェッショナルに愛されるドイツの高品質ケーブルメーカー KLOTZ AIS 社製品、2016年10月にイタリア AEB INDUSTRIALE 社が世界100ヶ国以上で展開する PA/SR スピーカーブランドの dBTechnologies 製品の国内正規輸入代理店として、流通、販売及びカスタマーサポート業務を開始いたしました。

TASCAM 製品の品質を余すことなく伝えることができる KLOTZ ケーブルと、音楽制作市場とその発表の場であるライブ・エンタテインメント市場にかかせない dBTechnologies の PA/SR スピーカーを取り扱うことにより、単体の音響機器に留まることなく、トータルでレコーディングソリューションの提供を推進していきます。



dBTechnologies



オーディオ銘機賞 2017 製品特別大賞受賞

2016年3月より販売開始したスーパーオーディオ CD トランスポート『P-02X』、36bit デュアルモノ D/A コンバーター『D-02X』は、「Stereo Sound」、
「音元出版」、「Stereo」など、著名なオーディオ専門誌の栄誉ある賞を多数受賞しました。



受賞

音元出版《ビジュアル
グランプリ 2017》
CD/SACD プレーヤー部門
(100万円以上)
受賞

『P-02X』

『D-02X』



製品特別大賞
GRAND SPECIAL PRIZE

音元出版主催
《オーディオ銘機賞 2017》
製品特別大賞

ESOTERIC



■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 300名 連結 879名

国内拠点

ティアック株式会社

本社 [東京都]

EMCセンター [埼玉県]

大阪営業所 [大阪府]

名古屋営業所 [愛知県]

エソテリック株式会社 [東京都]

ティアック マニュファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]

ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]

ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. [メキシコ]

TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]

TEAC UK LTD. [英国]

TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]

TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]

DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

■ 役員

代表取締役社長	英 裕治
取締役	野村 佳秀
取締役	Henry E. Juskiewicz
取締役	David Berryman
取締役	Solomon Picciotto
取締役	Bruce A. Mitchell
取締役	Benson K. Woo
取締役	Gerard L. J. Danjou
取締役 (監査等委員)	牧野 信明
取締役 (監査等委員)	原 琢己
取締役 (監査等委員)	坂口 洋二

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、
 自社ホームページに掲載しています。

投資家向け情報



<https://www.teac.co.jp/jp/>

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	289,317,134株
株主数	13,786名

大株主 (上位10名)

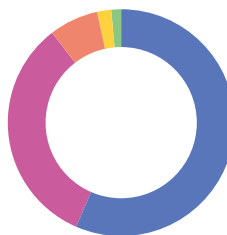
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.19
オンキヨー株式会社	2,894	1.00
日本証券金融株式会社	2,408	0.83
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	2,080	0.72
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
ティアック取引先持株会	1,781	0.62
明治安田生命保険相互会社	1,541	0.53
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口6)	1,482	0.51
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口3)	1,466	0.51

(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

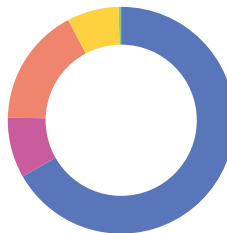
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う。
公告掲載URL	https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

株式所有者別状況



株式所有数別状況



【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式（1,000株に満たない株式）の買取請求のご案内

単元未満株式（1,000株に満たない株式）については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。

当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料（注）としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。

（注）無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

<例：株主様が100株をご所有の場合>



- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様（証券会社等にお取引口座がない株主様）
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（TEL 0120-232-711〈通話料無料〉）にお問合せください。

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100（代表）
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>

